

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No. 79

令和6年
11月発行

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
「あきやまがかり」
のみなさん

特集	うえのはらで頑張る人	2
	定例会で決まった主なこと	4
	議決結果等一覧表	7
	会期中の審査	8
	決算特別委員会	10
	一般質問	14
	閉会中の委員会活動	18
	市民の声	20



うえのはらで頑張る人 Vol.32 『あきやまがかり』のみなさん



都留文科大学地域社会学科の鈴木健大教授と大学生で秋山地区の地域活性化に取り組んでいる皆さんにお話を伺いました。

秋山ブラッシュアップ宣言

「あきやまがかり」とは

近年人口減少や少子高齢化が進み、2025年には限界集落化すると予測されています。そこで、私たち「あきやまがかり」は、秋山を盛り上げていこうと2020年から活動を始め、1期生、2期生に続き今年度より3期生で活動しています。

現在の活動状況

1期生は、地場野菜東京長かぶを使用した「カブジュエリート」の試作販売や地区の暮らしを紹介する「秋山暮らし図鑑」の作成発行を行い、2期生は、地区の魅力を紹介する「秋山とりこ図鑑」の作成や秋山小・中学校における地場野菜東京長かぶを題材にしたふるさと学習などを行ってきました。

今期のゼミでは地域再生の実践に取り組んでいて、2020年度



からは上野原市と共同で秋山地区の活性化を目指したPBL（課題解決型学習、プロジェクト学習などと訳される授業）を実施しています。生徒が自ら問題を発見し、その問題を解決する能力を身に付けることを目的としています。市役所職員からの講義、現地調査、富岡の棚田での職業体験等地域学習のほか、学生自身で秋山を元気にする企画を立案のうえ市に提案し、採用案を実施しています。

市長や地域の方々を迎えた年間報告会では、今後の秋山に関する意見交換が毎年活発になってきています。

今後の活動は

3期生としてのプロジェクトを進めているところです。新しい物を考えるということが非常に難しく、何がいいのか、何が必要なのか、課題は何かなど日々話し合いを重ね試行錯誤しています。



今後の目標は

長期的な目標になりますが、『秋山に人が来て住んでもらいたい』、『私たちのプロジェクトを通じて、外から人を呼び、関心を持ってもらいたい』と考えています。

そのためには住民の皆さんの協力が必要です。どこまでが良くて、どこまでがダメなのかといった点も住民の皆さんと話ができたらと思っています。私たちの取り組みをきっかけに、地域を元気にする取り組みが広がってほしいと思います。持続可能な地域に向け、引き続き皆さんと考えていければと思います。



議会や行政に望むこと

私たちがプロジェクトを行い、外からの人を呼ぶためのアクセス面での支援や、秋山地区に人を呼び寄せるスポットを作る、また移住支援だけでなく、住んだ後も支援していただけたらいいと思います。



取材を終えて

旧秋山村富岡地区の田んぼには、トンボが舞う秋晴れの空が広がっていました。都留文科大・自治体経営論ゼミの学生達が米づくりを通して地域づくりを学ぶ機会を捉えてお話を伺うことができました。当日は、刈り上がった稲を天日干しする作業を、農家のご家族と力を合わせて汗まみれになって行っていました。高齢化の進行が農業経営に与える影響など多くの課題が提案され、地域社会の存続が危惧される声が出されました。

9月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和6年第3回定例会が9月3日から26日まで24日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	32件
請願	2件
発議	2件
計	36件

※議案名・議決結果等はページをご覧ください。

条例 改正

空家等対策の推進に関する条例の一部を改正

議案第63号

上野原市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例制定について

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正により、管理不全空家等に関する規定を加えるとともに、空家等対策協議会を附属機関として定めるなどの改正を行うものです。

議案第62号

上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

条例 改正

国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険法の一部改正により、被保険者証の返還に関する罰則規定を削除するなどの改正を行うものです。

施行日 令和6年12月2日

議案第65号

上野原市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について

条例 改正

進学準備金を進学就職準備金に改正

生活困窮世帯の子供への大学等進学時における一時金支給に加え、高等学校を卒業後に就職する際にも一時金制度を設けるものです。

議案第67号

上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について

条例 改正

仲間川スポーツ広場についての改正

仲間川テニス場とゲートボール場を一体化してスポーツ広場に変更するものです。

施行日 令和6年10月1日

議案第64号

上野原市秋山簡易水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定について

条例改正

生活衛生等関係行政の整備により水道法の一部を改正

水道法の一部改正により、水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管されたことに伴い所要の改正を行うものです。

議案第66号

上野原市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例制定について

条例改正

勤労青少年ホーム施設条例が利用目的変更のため廃止

上野原市立病院横にある勤労青少年ホームの施設が、障がい者施設としての利用を見込んでいることから用途廃止を行うための改正です。

施行日 令和6年10月1日

議案第89号

山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について

条例改正

被保険者証及び資格証明書の規約改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正する法律の施行に伴い、現行の被保険者証が廃止されることから、山梨県後期高齢者医療広域連合規約で定める関係市町村が行う事務について、「被保険者証及び資格証明書」とあるものを「資格確認書等」に改正します。

施行日 令和6年12月2日

議案第90号～第92号

人権擁護委員候補者の推薦について

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

令和7年3月31日をもって3名の任期が満了を迎えるため、委員の候補者を推薦するに当たり全会一致で候補者を適任としました。

人権擁護委員候補者

桑原 若子氏
市川 浩氏
鷹取奈保子氏

請願第1号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

請願

三十五人学級など教育全般に対しての請願

北都留小中学校PTA連合会ほか3団体から提出された頭書の請願書について、全会一致で採択されました。

発議第2号

加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

発議

教職員定数の改善など意見書を国に提出

請願第1号の採択に基づいて、要旨以下の項目について国に意見書を提出しました。

- 一、教職員定数の実質的な増員で小中学校の35人学級を実施すること。
- 一、学校の働き方改革を行うために教職員定数の改善を推進すること。
- 一、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に還元すること。
- 一、国における教育予算を拡充するについて。

請願第2号

PETボトル回収に関わる請願

請願

PETボトル回収に関わる請願

「モア」おつで昨年行われた2カ月間のペットボトルの回収試験の結果を踏まえ、市内全域でのペットボトルの回収を求めるもので、全会一致で採択されました。



発議第1号

議会活性化特別委員会の設置について

発議

活性化特別委員会の設置

市議会の更なる改革及び活性化を推進するため、継続検討事項及びその他、議会改革に必要な事案について、調査・検討するため特別委員会を設置しました。

令和6年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案（○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者）

議案 番号	付託 委員会	案 件 名	天野 淳一	佐藤 澄男	清水 一明	安留 俊介	小俣 崇	内田 倫弘	八木 一雄	山口 薫	白鳥 純雄	遠藤美智子	川田 好博	東山 洋昭	杉本 公文	長田喜巳夫	審議 結果
62	文教 厚生	上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	● ●	○	○	○	可決
84	決算 特別	令和５年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	● ●	○	○	○	認定
89	文教 厚生	山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	● ●	○	○	○	可決

※賛成・反対は、委員長報告に対する態度です。

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
63	文教厚生	上野原市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
64		上野原市秋山簡易水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定について	
65		上野原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	
66	総務産業	上野原市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例制定について	
67	文教厚生	上野原市営運動施設条例の一部を改正する条例制定について	
68	予算特別	令和6年度上野原市一般会計補正予算（第3号）	
69		令和6年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
70		令和6年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
71		令和6年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	
72		令和6年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	
73		令和6年度上野原市大目財産区特別会計補正予算（第1号）	
74		令和6年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算（第1号）	
75		令和6年度上野原市巖財産区特別会計補正予算（第1号）	
76		令和6年度上野原市島田財産区特別会計補正予算（第1号）	
77		令和6年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算（第1号）	
78		令和6年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	
79		令和6年度上野原市小金沢土室山恩賜林有財産保護組合西原分収益事業特別会計補正予算（第1号）	
80		令和6年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算（第1号）	
81		令和6年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	
82		令和6年度上野原市下水道事業会計補正予算（第1号）	
83		令和6年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	
85	決算特別	令和5年度上野原市病院事業会計決算認定について	認定
86		令和5年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について	可決
87	—	令和5年度上野原市継続費精算報告書の報告について	受理
88	—	令和5年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
90	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
91	—	人権擁護委員候補者の推薦について	
92	—	人権擁護委員候補者の推薦について	
93	—	令和6年度上野原市一般会計補正予算（第4号）	可決
請願1	文教厚生	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
請願2		PETボトル回収に関わる請願	
発議1	—	議会活性化特別委員会の設置について	可決
発議2	—	加配定数の振り替えによらない35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書案について	

※「—」は委員会付託が省略された議案です。

予算特別委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 小俣 崇
他委員 議長を除く
他 12 議員

議案第68号 令和6年度上野原市一般会計補正予算（第3号）

正算
補正

総額1億5千577万2千円の
予算計上（人件費△931万4千円）

9月6日に開かれた予算特別委員会で、令和6年度上野原市一般会計補正予算（第3号）及び特別会計補正予算計16件の審査を行いました。各課から担当職員の出席を求め、質疑を行い、採決の結果、原案通り全会一致で可決すべきものと決定しました。

主な歳出

■総務費

デマンドタクシー土曜日実証運行に伴う負担金 1千211万1千円

観光特別サイト委託料等 463万1千円

■民生費

保育施設等給食費補助金 287万4千円

富士急バス発行のシルバー定期券（1年） 2千234万円

補助金 201万1千円

■衛生費

宅配ボックス購入補助金 6千22万7千円

可燃ごみ処理施設修繕費 208万8千円

3千833万3千円

正算
補正

総額1億589万8千円の予算計上

議案第94号 令和6年度上野原市一般会計補正予算（第4号）

主な歳出

■災害復旧費

市道棚頭線・市道登下線災害復旧工事積算測量 1億589万8千円

調査設計業務 2千30万円

市道登下線災害復旧工事 8千10万円

■農林水産費

秋山地区漬物加工施設解体工事費 2千950万3千円

オートムフェスティバル開催経費 2千251万7千円

■商工費

秋山温泉浄化槽プロワ交換修繕費 167万7千円

■土木費

橋梁塗膜調査業務 5万9千円

コモアしおつ緑道樹木伐採業務 137万3千円

■教育費

島田小学校図書床修繕 1千289万円

ミューの森宿泊者送迎補助金 660万円

198万円

2千354万8千円

120万円

135万5千円

総務産業常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 遠藤美智子
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
山口 薫
杉本公文

9月9日、委員会を開催し、付託された条例制定1件について、審査しました。

「議案第66号上野原市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例制定について」は、勤労青少年ホームを障がい者施設として利用変更を見込んでいることから、用途廃止を行うものです。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

続いて、「視察事項の検証について」所管事務調査を行いました。

鳥獣害対策については、担当課からサル捕獲に際して、「アニマルポータル」というツールの導入を進め、来年度予算に計上する予定であるとの説明がありました。

次に委員から今まで行った閉会中の視察内容に関し、委員会として提言等を行っていく必要

があるのではないかと意見が出され、今後の方向性について協議しました。

この中で、政策提言には相当な研究と当局との議論が必要で、当該事業が進むようなものであるべき等の意見が出されました。

委員会としては、担当課との意見交換を重ねる中で、時間をかけて方向性を決定していくこととしました。

また、委員から市の特産品づくりについて、指定管理について調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。



文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
川田好博
東山洋昭
長田喜巳夫

9月9日、委員会を開催し、付託された条例制定5件、規約の変更に関する協議1件、請願2件について審査しました。

議案第62号は、罰則規定の削除等を行うもの、議案第63号は、空家等対策協議会を設置するもの、議案第64号は、水道整備・管理行政が国土交通省及び環境省へ移管されるもの、議案第65号は、生活困窮世帯への高等学校を卒業後、就職時に一時金を受けられるようにするもの、議案第67号は、仲間川テニス場・ゲートボール場を削除し、仲間川スポーツ広場を追加するもの、議案第89号は、市町村が行う事務の名称を改めるものです。

以上6案件を採決の結果、議案第62号、89号は異議があり起立採決の結果、可決し、他4議案は全会一致で可決しました。

請願第1号は、子供たちの豊かな学びや学校の働き方改革などを実現するため、国に意見書を送付することを求めるもので、請願第2号は、市内全域でペットボトルの回収を求めるものです。請願2案件は採択すべきものと決定しました。

また、所管事務調査として簡易水道組合事業等支援対策について、引き続き閉会中の調査を行う事とし、加えて、天然記念物の樹木の状況についても、閉会中の視察調査を行うことに決定しました。



5 年度
決算

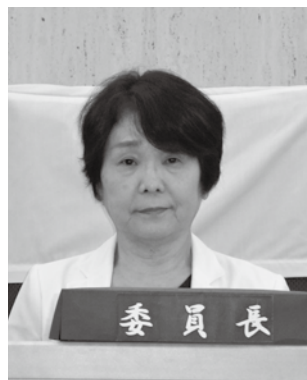
私たちの納めた税金の 使い道を審査しました

令和 5 年度の決算認定について、議長と監査委員を除く 12 人の議員で決算特別委員会が設置されました。9 月 11 日、13 日、17 日の延べ 3 日間にわたり審査を行いました。

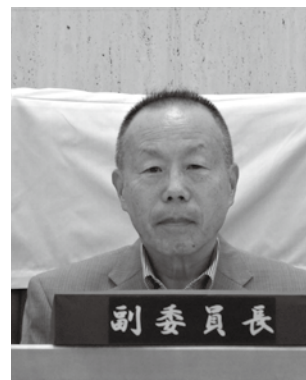
各課から担当者の出席を求め、令和 5 年度の収入・支出について、無駄なく効率的に使われたか、その成果等について審査を行いました。延べ 85 件の質疑が行われました。最終日には、2 人の委員が総括質疑を行いました。

審査の結果、議案第 84 号「令和 5 年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また、議案第 85 号「令和 5 年度上野原市病院事業会計決算認定について」は認定すべきものと、議案第 86 号「令和 5 年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」は可決すべきものと全会一致で決定しました。



遠藤美智子 委員長



安留俊介 副委員長

令和5年度の決算規模

一般会計

歳入	126 億 4006 万 3544 円
前年度比	3.6%減
歳出	120 億 6499 万 8113 円
前年度比	2.8%減

特別会計(16会計)

歳入	71 億 8238 万 1110 円
前年度比	1.4%増
歳出	67 億 6902 万 796 円
前年度比	0.7%増

決算特別委員会

委員長 遠藤美智子

副委員長 安留俊介

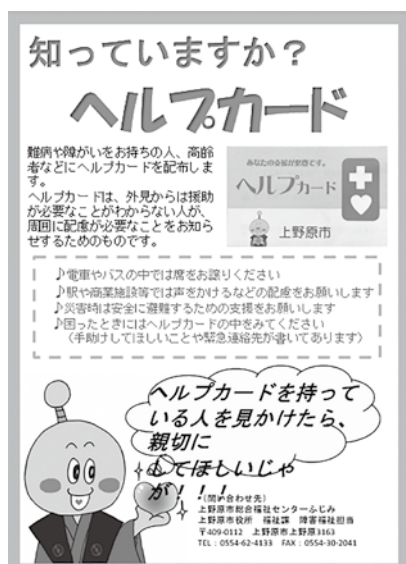
委員 天野淳一 佐藤澄男 清水一明 小俣 崇 内田倫弘
八木一雄 白鳥純雄 川田好博 東山洋昭 杉本公文

住宅使用料滞納者の状況

- Q** 法に則って手続きをしていく必要があるのでは。
- A** 調査はしていますが具体的にはこれから取り組んでいきます。また、弁護士等専門家の意見も踏まえて早急に取り組を進めていきます。

Q 質問 と A 答弁

決算特別委員会の議論の中から、いくつかの内容について、要約を載せます。



ヘルプカードの発行と 交付方法

Q 交付枚数と交付手続きは。

A 交付枚数は。
R 4年度60枚 R 5年度66枚
R 6年度31枚(8月末現在)です。
ヘルプカードを交付する際の手続きとして、障がい者手帳や特定医療費(指定難病)受給者証の提示を求めていたが、今後はそれらの提示をしなくても、必要な方に交付できるようにしていきます。

地域防災リーダー

- Q** 地域防災リーダー養成の地区防災計画への関わり方は。
- A** 地域防災リーダー講習において、地区防災計画の必要性については地域防災リーダーに対して話をしており、ホームページに計画のひな形を掲載し活用を促しています。また、他市町村の状況を参考に研究していきたいと思います。

人工透析交通費補助金

- Q** 市外へ通院している方の人数は。
- A** 市外通院者数は12名で、1名は都留市、11名は高尾・八王子方面です。

四方津駅バリアフリー化工事

Q 国交省が行う歩道拡幅整備工事は、今年度末までに完了出来るのか。

A 現在は、擁壁工事を進めています。
9月13日午前の国交省工事事務所長からの報告によりますと、施工エリアが狭く工事の進捗に支障が出ています。予定工期内での完了が難しく、年度を超えての完了の見込みです。

実質単年度収支の傾向

Q 実質単年度収支が昨年から大きく減少しているが、長期的に見た場合は、黒字傾向が続いているのか。

A ここ数年は黒字ですが、人事院勧告に伴う人件費の上昇や物価高騰により、あらゆる経費の増加が想定されるとともに、小中学生や未就学児の給食費無料化など新たな施策も展開しているので、黒字幅は下がっていく見込みです。

子ども家庭センター

Q 子ども家庭センターが4月に設置されました。機能や取り組み内容は。

A 妊産婦のケア、ひとり親家庭の子どものケアなど今までの取り組みを継続する一方で、新たに妊産婦の心のケアとして「ホッとスペースこ・こ・あの集い」を設け、子育ての話や日頃の悩みなど参加者で情報交換しながら、親子が笑顔で楽しく毎日が過ごせるための仕組みを作りました。参加者から多くの反響を頂いています。



子育て移住冊子

Q 子育て移住冊子「Poka Poka」の活用方法と電子化は。

A 総合福祉センターふじみ・子育て支援課、こども園等にて配布し、子育て移住相談時の説明に活用しています。電子化は行っていないがデジタル化を前向きに検討します。



がん検診の受診率の低下

Q がん検診の受診率の低下の原因は。

A 内閣府の調査では、時間がない、必要性を感じない、検診に対する不安などの結果が出ています。

Q 対策は行っていくのか。

A がん検診の必要性を理解していただき、はがきの送付、チラシの配布、戸別の受診勧奨を行い、受診率の向上を目指します。

サウンディング調査結果

Q 旧西原中や旧平和中などの調査を行ったが、今後の利活用は。

A 昨年 10 月から調査を実施し事業アイデアを募ったところ、多くの問い合わせがあり、今後、事業者ニーズを踏まえた中で公募につなげていきます。



中学校の部活動の支援

Q 部活動の支援はどのようになっているのか。

A 放課後と休日の部活動について、各校に 3 名の指導員を派遣しています。

Q 3 名の指導員を派遣しているが、単独の部活動ではなく総合的な指導をしているのか。

A 総合的ではなく、上野原西中（新体操）、上野原中（サッカー）、秋山中（バレー）です。

防災教室の拡充

Q 小学生への防災教室を実施されたとのことだが、中学生、高校生、大学生へと拡大して啓発すべきでは。

A 上野原小学校からの依頼で実施しました。総合学習の一環として取り組んだところ興味深く聞き入ってくれて大変有効であると感じました。今年度は、放課後子ども教室など教育委員会からも依頼がありました。中学生や高校生に向けての防災教室の開催に当たっては、効果的な成果を含めタイミング等検討します。

各議員の主な質問項目

川田好博 議員

- 1 市民のくらしを助ける
- 2 子育て支援

杉本公文 議員

- 1 市長の公約について
- 2 市民の命を守る防災・減災（地震）対策について

八木一雄 議員

- 1 「文化財常設展示室」開設に向けた準備状況と活用方針（公開指針）は
- 2 青少年育成に向けた「第3の居場所づくり」について

小俣 崇 議員

- 1 単身高齢者の増加を社会で支える仕組みについて
- 2 安心・安全な道づくりについて

遠藤美智子 議員

- 1 手話言語を使いやすい環境の整備について
- 2 投票率の向上と、誰もが投票しやすい環境整備について

東山洋昭 議員

- 1 令和5年度に予算化した市民等の移動手段支援について
- 2 イオンファンタジー（ミューの森）への協力について

長田喜巳夫 議員

- 1 上野原未来会議について
- 2 生活基盤の整備について

安留俊介 議員

- 1 ゴルフ場を活用したまちづくり

市民のくらしを助ける施策を

質問

市民のくらしを助けるために最大の取り組みを。

答弁

不安定な社会状況の中、市民のみなさんに必要な取り組みについては、引き続き検討をしていきます。

質問

中小零細企業の賃上げには、社会保険料の事業主負担の軽減などが必要。

答弁

大きな課題ではあります。が、一自治体での支援は、非常に困難です。

質問

昨年11月に公正取引委員会等から「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」が出されているが、

答弁

県が示している労務単価等を参考に積算し、適正な価格で発注しています。「指針」については、各課に示すとともに、市内の業者にも周知を図っています。

質問

3歳未満児の保育料の平均はいくらか。

答弁

月3万5422円です。女性が活躍するうえでも、

正規雇用を増やすために、保育料の無償化は重要な課題と考えるが。

答弁

国や県の施策を注視し女性の雇用環境への配慮となる施策を模索していきます。

質問

学校給食費の無償化以外に、他の学校教育費の負担軽減も必要ではないか。

答弁

就学援助や端末を利用したソフトなどで負担の軽減を図っています。

質問

学習塾費などの軽減のために、わかる授業が必要。

答弁

学校の授業は、学校で完結することを常に目標としています。学習指導要領の内容を身につけさせることは最も重要な使命です。



川田好博

市長の再選に向けた政策と 市民の命を守る防災減災対策は



杉本 公文

質問

議会の冒頭、次期市長選への出馬表明をされました。

再選に向け、少子高齢化や人口減少対策及び、いまだ実施されていない出産通院費用への支援をどう考えているのか。

答弁

「結婚・出産・子育ての安心と楽しみを共有し、人が出会い、磨かれ育つ未来など、誰もが幸せを実感できる安心を創る」を基本とし、教育や人材育成、情報発信、関係・交流人口の創出、官民・地域連携に取り組む政策を進めていきます。出産の通院費用の助成制度につきましては、実現に向けて努力していきます。

質問

市の将来を見据え、スマートインターを軸にした西部地域の活性化策は。

答弁

官民連携による交流人口の増加や雇用の創出を探り、民間事業者主導による民間資本を活用し、道路を含め

質問

西部地域の開発及び活性化を図っていきます。

地震の最大被害想定は、市内で死者431人で、殆どが建物の倒壊によるとされている。非耐震の住宅は約千棟だが、本年度の耐震改修予算は4棟分だけで市民の命を守るのか。

答弁

まだまだ実績が少ない状況で、課題を痛感し、更なる補助制度の周知、耐震化への啓発活動に努めます。自主防災の要となる地区防災計画は、コモア地区を除き15年程前に策定され改定がない事は問題。専門集団の防災リーダー支援の会に協力要請をすべきでは。

要望

文化財常設展示室開設準備状況 校庭・グラウンドの開放に向けて



八木 一雄

質問

来年4月文化財常設展示室開設に向けての取り組みについて。①準備状況は。

答弁

学芸員資格者2名が中心となり施設に関連する工事の監督業務、展示資料の調査や選定、展示方法の検討など作業全般を担いつつ、文化財保護審議会委員や市民ボランティアの方々協力も頂き取り組んでいます。

質問

②展示施設の公開指針は。

答弁

「魅力的な展示と多彩な事業展開」を目標に掲げ、大人も子どもも楽しみながら郷土の歴史文化を学ぶ場所になるよう考えています。また、保存に配慮した展示環境の整備も不可欠であり、温湿度の管理や紫外線の低減などに務め、保存と活用両立を図って行きます。

質問

③機運を高めるための情報発信や啓蒙活動は。

答弁

情報発信として9月中の公開を目標にSNS（インス

質問

タグラム）を使って収蔵品の画像や解説を定期的に紹介できる準備を行います。学校の校庭・グラウンドの試行的開放に向けた検討状況は。

答弁

校庭の開放に向けたルール作り、学校活動やスポーツ開放に支障をきたさないための関係者との協議も進めております。併せて安全対策としての防犯カメラの設置は年内にも完了予定となることから、年明けには開始したいと考えています。

他に、保育所送迎ステーション事業、地域活性化施設、交流スペースの事業化について質問しました。



単身高齢者の増加を 社会で支える仕組みについて



小俣 崇

質問

社会で支える仕組みの構築について。

答弁

身寄りのない高齢者を地域で支える仕組みとして、成年後見人制度や地域包括ケアシステムの構築、生活支援体制整備などがあります。今後も、こういった地域で支え合う取り組みを推進させながら、高齢者全体が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制づくりをしていきます。

質問

頼れる外国人消防団員の確保について。

答弁

本年4月に初の外国人団員が市消防団に入団しました。団員不足が課題となる中、新たな担い手として期待をしているところで、議員が仰るとおり、消防団活動には「公権力の行使」が伴うため、現在の活動は、平時における広報、機械器具点検等の消防団活動としています。

質問

巖地区の道づくりについて。

答弁

四方津駅及びコモアおつ周辺については、上野原市の中核を担う地区拠点として位置付けられています。特に四方津駅については、交通拠点となることからバリアフリー基本構想に基づく整備が進められています。四方津駅西側の中央線下の隧道は、狭小、狭隘で緊急車両の通行に影響があるという認識を持っています。現実的には、国道20号線四方津駅先のJR跨線橋を含めた改修工事が行われる際にでも、国道からの進入路拡幅を検討していくことが考えられます。



手話言語を使いやすい環境整備 選挙支援カードの導入



遠藤 美智子

質問

「手話言語条例」を制定したまちとして、手話が言語であることの理解の促進や普及をもっと拡充すべき。

答弁

地域で手話を使いやすい環境をつくる点においては、まだまだ至らない状況です。引き続き理解や促進、普及に向けて取り組みます。

質問

既に10年前、日本が批准した「障害者権利条約」で、ろう者の人の情報の受け取りや、意思疎通のために聞く権利、話す権利が保障されることが明記されている。まずは、「手話施策推進計画」を策定し具体的な取り組みが必要と考えるが。

答弁

3年後の障害者福祉計画の見直し時に、手話を必要としている人の声を聞き具体的な取り組みを検討します。

質問

今後、手話養成講座を受講した人のフォローアップ研

答弁

修の実施、手話通訳士等、人材の確保は。

質問

フォローアップ講座については、関係者の意見を聞き実施に向けて検討していきたいと思っています。手話通訳士の育成については、手話奉仕員養成講座修了者が次のステップに移行するため支援方法として検討していきます。

質問

投票の際に支援が必要な人へ対応する選挙支援カードの導入を。

答弁

導入を含めて引き続き、投票所の環境整備について適切な対応をしていきます。



「ミューの森」への市の協力 体制と案内看板増設について



東山洋昭

質問

担当課や他課との協議・打ち合わせは。

答弁

社会教育課が担当課として毎月「ミューの森」と協議しています。その中で関係する他課へ情報を伝えています。また、他課宛に関係する情報等があった場合は当課に連絡をもらい、必要な場合には協議の場に参加してもらっています。協力する一例として、今定例会において集客を目的としたタクシー送迎プランの一部補助の予算案を上程しています。今後においても課長会議等を活用し、庁内での情報共有を行い、協力していきたいと考えています。

質問

答弁

案内看板増設については。

現在、桐原地区三三山交差点と芦瀬の二か所に案内看板が設置されています。当課としても関係各課等と現状確認、またそれ以外に必要と思われる場所の確認を



行ったところです。今後はその場所の所有者等の確認を行い案内看板設置に向けて「ミューの森」を始め、国、県、市担当課、私有地所有者等の関係者と協議を行っていきます。

他に、令和五年度に予算化した市民等の移動手段支援について質問しました。

上野原未来会議について



長田喜巳夫

質問

上野原未来会議は、市と市民が一体的になり住みやすいまちにするための方向を考え、実践していく話し合いの場であるとして、第3期の総合戦略の策定に向けた会議を開催している。総合戦略は人口減少の中、地域基盤の整備と若者世代の結婚・出産・子育て支援等の施策を一体的に推進していくための方針である。メンバーの構成は。

答弁

20～30代が32名、40～50代が17名、60～80代が16名で若者世代が多いです。

質問

答弁

会議の開催状況と内容は。

現在まで4回の会議を開催しています。内容は、10年後に期待する上野原の姿や上野原の強み弱み、10年後に期待する上野原の理想の姿の投票、ひと・お金・情報が集まるストーリーを考えるワークショップ、共感が生まれるストーリーにつ

質問

地域課題の把握方法は。市民や企業・団体などとの関わり合いの中から、対話を通じて課題の把握に努めていきます。

意見

第2期の総合戦略を踏まえ、人口減少に歯止めをかける具体策を明確にし、生活基盤整備についても推進方針を明確にすべき。

答弁

具体策がまとまれば、議決事件のため議員の皆さんに示し、説明いたします。

他に、生活基盤整備、観光振興について質問しました。



ゴルフ場を活用したまちづくり



安留俊介

総務産業常任委員会

委員長
清水一明
副委員長
遠藤美智子
委員
天野淳一
安留俊介
内田倫弘
山口 薫
杉本文文

質問

本市には、北杜市及び都留市とともに県内最多の6カ所のゴルフ場があるが、令和5年度におけるゴルフ場利用税交付金の収入額、また、ゴルフ場の利用者数は。

意見

さらに、交流人口拡大や地域経済活性化に向けて、ゴルフ場や関係団体とも協力しながら地域振興を図っていきたいと考えています。

答并

ゴルフ場利用税の10分の7相当額、1億2千6万3千440円が県から本市に交付され、年間の利用者は、延べ約25万人となっています。

質問

市内のゴルフ場は、重要な地域振興資源であるとの観点から、ゴルフ場と協力し、まちづくりを推進すべきでは。

答并

一日プレー券をふるさと納税の返礼品としており、プレー当日にふるさと納税の寄付ができるシステムの提案もしています。また、ゴルフ場施設を大規模災害時における対応施設として位置づけるなど防災対策についても検討する予定です。



さらに、交流人口拡大や地域経済活性化に向けて、ゴルフ場や関係団体とも協力しながら地域振興を図っていきたくと考えています。

ゴルフ場に関連する市への恩恵は、多額の交付金に加え、固定資産税、借地料、雇用など計り知れず、まちづくりなど様々な観点からも、ゴルフファーやゴルフ場、ゴルフをはじめ様々な目的で本市を訪れる方々を対象とした振興策が、市とゴルフ場の協力の元に積極的に推進され、市民からも理解されることを期待しています。

閉会中の継続調査を行った「移住相談員の各地区への配置について」と、「視察事項の検証について」を報告します。

移住相談員の各地区への配置については、より一層の移住促進を図るために、各地区に移住相談員を配置するものですが、担当課からは、制度設計や調査にかかる職員の労働コストの割には成果が見込めないこと、人口減少が進む中で新たな役職を設けることは、地域への負担も少なくないことなどから、配置は考えていないとのことでした。

これを踏まえ、市が今年度移住コーディネーターを増員したことから、この成果を見極めていくことなどにより、今回の提言は提出すべきではないとの意見で一致しました。

視察事項の検証については、
これまでに・バイオマス発電

・市の特産品づくり・鶴島土地改良事業・鳥獣害対策・廃校の利活用についてを調査してきました。これらの調査を踏まえて、提言書の提出を行うには、今後、も調査、審議を重ねていくことが必要であることから、引き続き検討していくことに決定しました。

当局には、意見を参考にし実行可能なものについては積極的
に今後の施策の構築実行に生か
していくことを要望しました。



閉会中の委員会活動

文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
川田好博
東山洋昭
長田喜巳夫

7月17日に、閉会中の継続調査として未来クラブから提出された「簡易水道組合事業等支援対策について」調査を行いました。

担当課から各組合へ行っている支援対策の現状説明を受け、意見を出し合い議論した結果、当局調査内容を受けて、引き続き調査し結論を出す事に決定しました。

8月8日に東京都江戸川区で文化財の保管・展示状況について視察調査を行いました。

江戸川区の郷土資料室ではテーマを決めた常設展示や、年3回程度の企画展を開催し、都の指定遺跡である一之江名主屋敷の管理も行っているそうです。

江戸川区内には、多くの登録文化財、古文書、民俗資料があり文化財の記録映像を、毎年優先順位をつけて製作しているそうです。

続いて、旧大目小学校での文化財保管状況を確認しました。現在は、6つの教室に文化財を保管し、秋山の一部を除いた文化財のほぼ全てを一元管理しているとの事です。

委員からは、文化財の虫干し作業などを依頼してもらえれば積極的にお手伝いしたい、常設展示に向けて必要な部分についてサポートを行っていく必要があるとの意見が出されました。また、人間的な面や、予算措置等を含め入念な準備を進めるよう要望しました。



議会活性化特別委員会

委員長 八木一雄
副委員長 清水一明
委員 議長以外の
11名

議会活性化特別委員会は、この1年3ヶ月の調査期間で、意見交換会の開催や政策提言の実施など一定の成果を上げることができましたが、市議会を取り巻く環境を鑑み、本定例会において再度委員会を設置し、引き続き議会改革を進めていくこととしました。

継続検討事項

1. 意見交換会の開催について
年間開催回数、開催主体、開催時期、開催方法等
2. 政務活動費について
未交付の市議会の状況を注視しながら、時期を見計らい、導入の可否も含めて検討
3. 討論交互の原則の見直しについて
会議規則のとおり柔軟に対応している市議会があることから、更なる活性化に向け検討
4. 一般質問の持ち時間と会派による代表質問について
執行部の答弁時間は含めず、議員の質問時間のみを25分とする案や変更の時期については、議場のシステム等の改修工事を考慮し検討し、代表質問については、必要性も含め検討
5. タブレット端末の導入について
導入に係る運用基準を定める必要があるため、すでに設置しているタブレット端末運用基準検討会における素案を基に、継続的に会議を開催し、基準を決定

市民の声

上野原で育って気づいた魅力



秋山中学校
小俣 千晴 さん

私は15年間上野原で過ごす中、上野原のいいところをたくさん発見しました。まずは何より自然が豊かなことです。緑に囲まれ、とても空気がきれいな環境で学校生活を送れるということは本当に素晴らしいことだと思っています。こんな素晴らしい環境で過ごせるというのは当たり前ではないので感謝して過ごしていきたいです。そして、奥深い歴史や文化があることです。秋山中学校では総合的な学習の時間に「あきやまタイム」という形で地域学習に取り組んでいます。この活動はふるさと秋山の歴史や文化に触れることができる機会となり、私達のような若い世代に伝承していくという面でも有意義な学習となっています。私は上野原で育ったことを誇りに思っています。これからも上野原の魅力をより多くの人に伝えていきたいです。

12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27 本会議 (初日) 傍聴可	28 議案調査	29 議案調査	30
12/1	2 委員会 予算特別	3 議案調査	4 委員会 総務産業 文教厚生	5 議案調査	6 議案調査	7
8	9 議案調査	10 本会議 一般質問 傍聴可	11 本会議 一般質問 傍聴可	12 本会議 一般質問 予備日 傍聴可	13 本会議 (最終日) 傍聴可	14

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。
委員会の傍聴については、委員長へ申し出をお願いします。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。
ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

地球温暖化が進み異常とも思える高温が続き、本年は気象庁が統計を取り始めて最も暑い夏となりました。異常気象の中で、ゲリラ豪雨や線状降水帯の発生に伴う大雨などによる災害も各地で多発しております。改めて、市民の皆様も地球温暖化を身近に感じ、対策の必要性を感じているのではないのでしょうか。防災力の強化を図り、尊い命が失われないよう、「防災に強いまちづくり」に取り組んでまいります。一人ひとりが防災への意識を高めていただき、地域での防災活動にご協力をお願いします。(佐藤)



YouTube
QRコードです



議会だよりの
QRコードです



議会だより編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内田 倫弘 |
| 副委員長 | 小俣 崇 |
| 委員 | 天野 淳一 |
| 委員 | 佐藤 澄男 |
| 委員 | 清水 一明 |
| 委員 | 安留 俊介 |
| 委員 | 八木 一雄 |